



7月初めの工事の進捗状況

当初は着手が遅れ、工程に遅れが出ておりましたが、現在約2週間程度の遅れまで回復しています。R.C.解体工事において、現在未着手の大きな建物は、志津川病院新棟・大森住宅・松原住宅・戸倉小学校となります。二次仮置場造成工事は予定工程より遅れていますが、現在B・C地区を残すのみとなっています。廃棄物については歌津・志津川の両地区から7月14日現在で14,000トン搬入しました。



企業体の1階会議室に設置しております。必要な場合は、2階の事務所にお声がけください。



梅雨とはいっても今年は比較的長雨が少ない日々が続いている中、南三陸町の廃棄物処理を行う施設の工事が4月からスタートし、3か月半が過ぎようとしています。施設の中心である焼却炉の建設工事はほぼ外部の組立を完了し、今後は内部の仕上げと外部の配管等の工事となります。現場は昼夜二交替で頑張っています。焼却炉は垂直ストーク炉タイプで一日95tを焼却可能な炉を3基建設中です。高さは25メートルと国道398号線からでも望めます。

A地区 焼却炉工事が最盛期



南三陸処理区ニュース

発行

気仙沼プロック(南三陸処理区)
災害廃棄物処理推進連絡協議会

連絡先

〒986-0781
清水・フジタ・鴻池・東亞・青木あすなろ
・ 錢高・浅野
特定業務共同企業体事務所

TEL 0226473128
〒986-0781
南三陸町戸倉字水戸辺148-2
A地区

航空写真を撮りました

平成24年6月21日台風一過のいい天気の下で撮影しました。



処理施設の計画図

上記の写真と同じ方向の計画図です。
A地区は焼却を含む木材エリア、B地区は廃棄物を受け入れ・選別するエリアと造粒・コンクリート破碎エリア、C地区は土砂の洗浄エリア、そして、D・E地区は廃棄物の仮置き場です。

